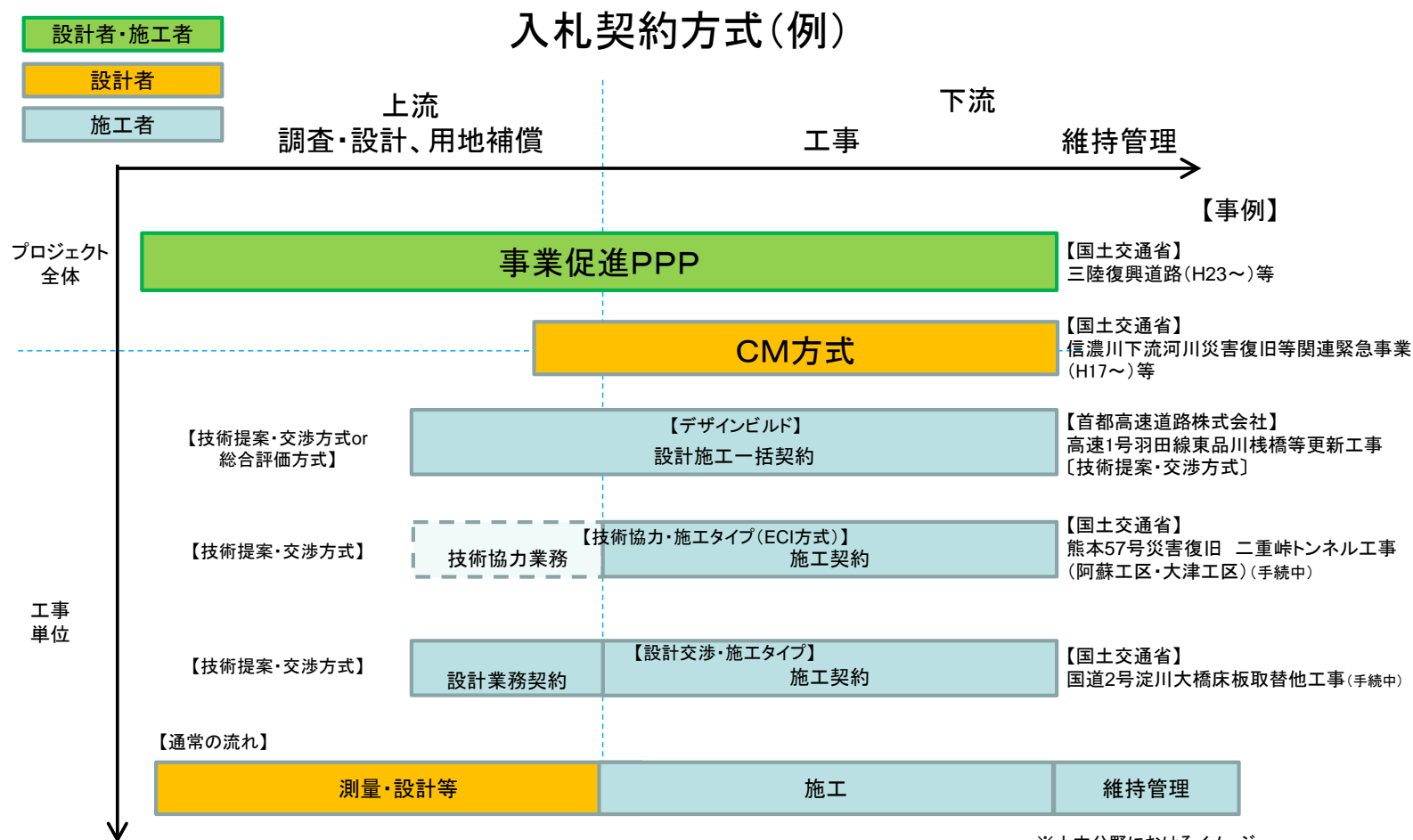


# フロントローディング実践のための 技術提案・交渉方式の適用拡大

---

# フロントローディングの実践

- プロジェクトの上流段階において、後工程で生じるリスク等を事前に集中的に検討するために、事業の特性や進捗状況、発注者の体制等を踏まえ、最適な入札契約方式を適用することにより、工事の品質確保や施工の効率化等を図る。
- 導入初期段階である技術提案・交渉方式について、その適用拡大を図るべく環境整備の充実が必要



# 技術提案・交渉方式の運用ガイドライン

○ 品確法<sup>※</sup>第18条において、工事の仕様の確定が困難である場合に適用できる「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式」を規定。

※ 公共工事の品質確保の促進に関する法律

○ 国土交通省直轄工事において本方式を適用する際、参考となる手続等を定めたガイドラインを策定。

## <主なポイント>

### 1. 適用工事の考え方を明記

#### ① 発注者が最適な仕様を設定できない工事

例：国家的な重要プロジェクト開催までに確実な完成が求められる大規模なものである一方、交通に多大な影響を及ぼすため、工事期間中の通行止めが許されないことから、高度な工法等の活用が必要な高架橋架け替え工事

#### ② 仕様の前提となる条件の確定が困難な工事

例：構造的に特殊な橋梁における大規模で複雑な損傷の修繕工事

### 2. 契約タイプとして3つの類型から選定

#### 1) 設計・施工一括タイプ

⇒ 優先交渉権者と価格等の交渉を行い、設計及び施工の契約を締結

#### 2) 技術協力・施工タイプ

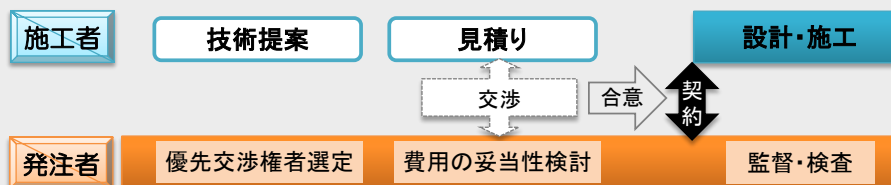
⇒ 優先交渉権者と技術協力業務を締結。別契約の設計に提案内容を反映させながら価格等の交渉を行い、施工の契約を締結

#### 3) 設計交渉・施工タイプ

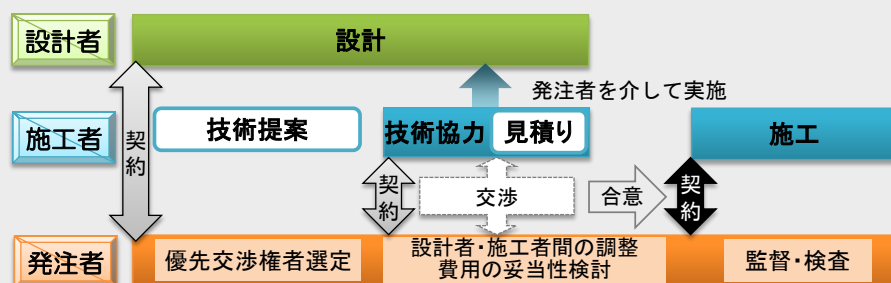
⇒ 優先交渉権者と設計業務を締結。設計の過程で価格等の交渉を行い施工の契約を締結

## 各契約タイプにおける手続の流れ

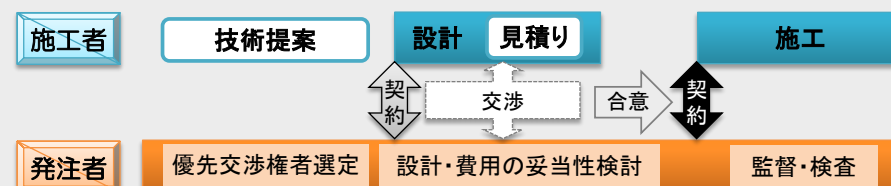
### 1) 設計・施工一括タイプ



### 2) 技術協力・施工タイプ



### 3) 設計交渉・施工タイプ



# 技術提案・交渉方式の適用事例①

## 技術提案・交渉方式(設計交渉・施工タイプ)

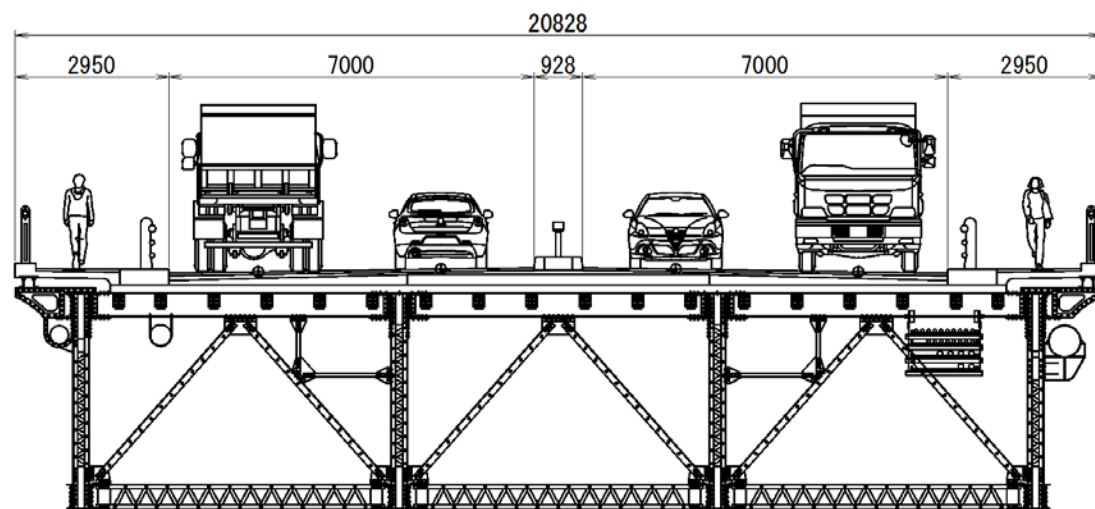
工事名：国道2号淀川大橋床版取替他工事  
 工事場所：大阪府大阪市福島区海老江地先から  
 大阪府大阪市西淀川区野里地先まで

### 工事内容：

実施設計 設計延長 約725m  
 床版取替工詳細設計 一式  
 修繕詳細設計 一式  
 仮設道路設計 一式  
 附属物等復旧設計 一式  
 施工計画・仮設設計 一式 等

工事内容 工事延長 L= 1,160m  
 工場製作工 4,800t  
 床版撤去 6,000m<sup>3</sup>  
 鋼床版設置 15,000m<sup>2</sup>  
 アスファルト舗装工 12,000m<sup>2</sup>  
 仮設工 一式 等

工期：設計業務委託は、契約締結日の翌日から  
 平成28年12月20日まで  
 工事は、契約締結日の翌日から平成32年  
 3月31日まで



鉋桁部



トラス部

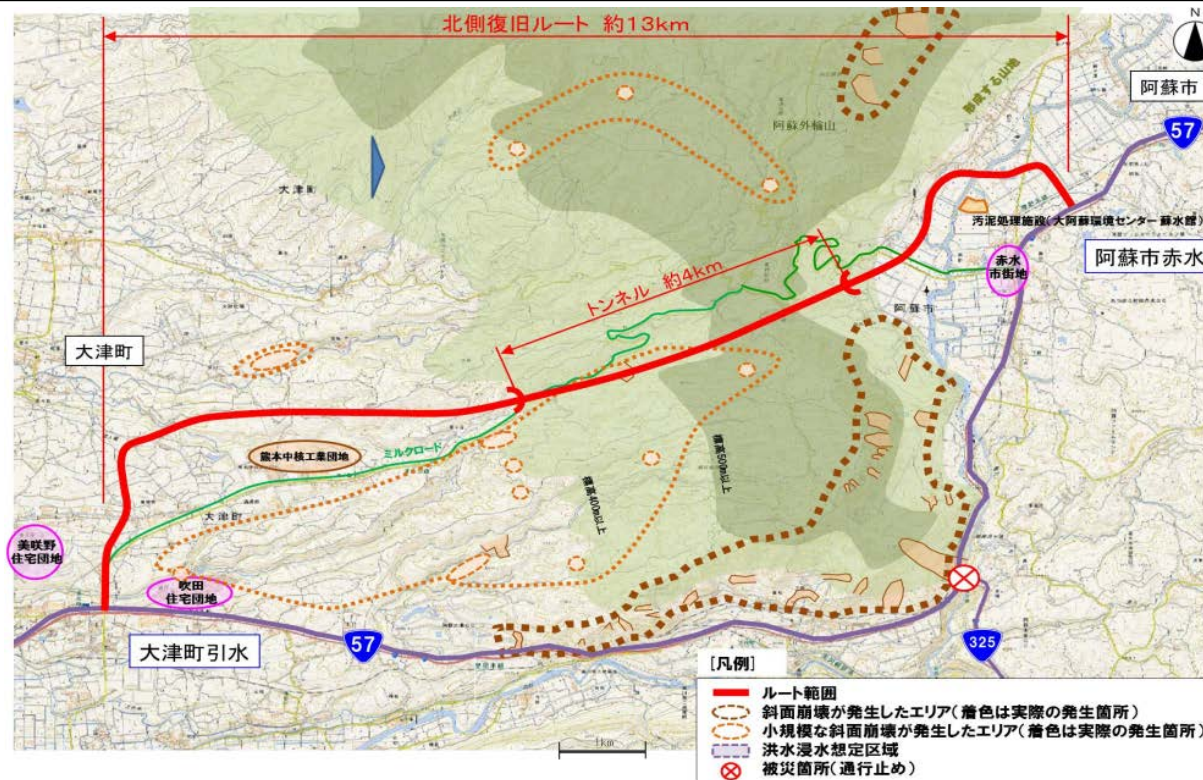
## 求める技術提案について

- 床版撤去時及び完成後の橋の構造体としての安全性を確保する提案
- 交通規制期間短縮に向けた提案
- 維持管理費の低減や維持管理の効率化に資する提案

# 技術提案・交渉方式の適用事例②

## 技術提案・交渉方式(技術協力・施工タイプ(ECI方式))

**工事名** : 熊本57号災害復旧 二重峠トンネル(阿蘇工区)工事  
 熊本57号災害復旧 二重峠トンネル(大津工区)工事  
**工事場所** : 熊本県阿蘇市車帰から熊本県菊池郡大津町古城地内  
**工事内容** : 技術協力 設計に対する技術協力(技術提案、技術情報の提供、施工計画の作成等)1式  
 施工 阿蘇工区(延長L=1,650m、W=12m)、大津工区(延長L=2,000m、W=12m)



### 求める技術提案について

- 技術協力業務の実施に関する提案
- C II 及び D I 支保パターン毎の掘削からロックボルト打設までの100m当たりの施工日数及び経済性に関する提案
- 脆弱な地山(坑口部を除く)が出現した場合の施工上の課題及び対応策に関する提案

# 技術提案・交渉方式の適用について

## ■現状

- 国交省直轄工事において技術提案・交渉方式により発注手続が進められているほか、他機関においても適用事例がみられる
- 適用の初期案件として、手続きを通じて課題や整理しておくべき事項が明らかとなることが想定

現在手続き中の事例から、想定される課題等

- 技術協力業務や設計業務の適切な期間の設定
- 各タイプごとの技術提案に関する評価項目の設定の考え方
- 技術提案の審査や価格等の交渉にあたっての発注者側の視点・体制等
- 価格の妥当性・透明性の確保方策

## 論点 実施事例等を踏まえた技術提案・交渉方式に関する運用ガイドラインの改正について

### ■取組みの方向性(案)

- 施工者がプロジェクトの上流から関与し、発注者・設計者・施工者が協働して取り組むことにより、円滑な施工性の確保や工期の短縮を図る観点で、手続きを通じて明らかとなった課題や改善点を速やかにガイドラインに反映させ、今後の実施環境の整備を推進